Panasonic

住まいるサポ [E型] 2：2

施工説明書

親機（露出型）（HEMS対応）（7型モニター） 品番 WQH700W 品番 WQH700W□□□

WQH700W

●正しい施工をしていただくため、必ずお読みください。
●施工するには、電気工事士の資格が必要です。
●施工後、必ず施主様に商品説明をしていただき、取扱説明書と施工説明書などをお渡しください。
●保証書に必ず必要事項を記入してください。
●万一、施工説明書にしたがわず施工された場合の事故や故障などについては責任を負い兼ねることがあります。

付　属　品	
●取付用なべタッピンネジ（4×20）	2本
●絶縁板（梱包用のダンボール仕切りに仮固定）	1コ
●番号シール	1枚
●取扱説明書	1冊
●保証書	1枚
●設定マニュアル	1冊
●施工説明書（本紙）	1枚

安全上のご注意　■必ずお守りください

⚠警告

分解禁止	**絶対に分解したり、修理・改造しない。** 感電の原因となります。
必ず守る	**必ず電源（AC100V）を切った状態で施工する。** 活線工事は感電や故障の原因となります。
必ず守る	**AC100V用電源線は確実に差し込む。** 差し込みが不十分な場合、発熱するおそれがあり、火災や焼損の原因となります。
必ず守る	**万一、異常が発生したら電源（AC100V）を切る。** 切らないと、発熱・発火の原因となります。
禁止	**水や雨のかかる場所（屋外など）および湿気の多い場所（浴室など）には設置しない。** 感電の原因となります。
禁止	**小勢力端子にAC100V用電源線を接続しない。** 発火・発煙の原因となります。

⚠注意

禁止	**モニター画面を強く押したり、強い衝撃を与えない。** モニター画面のガラスが割れてけがの原因となります。
接触禁止	**モニター画面が割れた場合、モニター画面内部の液体には絶対に触らない。** 皮膚の炎症などの原因となります。 万一、口に入った場合はすぐにうがいをして医師と相談してください。目に入ったり皮膚に付着した場合は、清浄な水で最低15分以上洗浄した後、医師と相談してください。

施工上のご注意

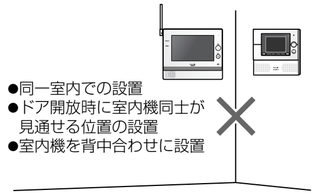
●この商品は戸建て住宅専用です。マンションなどの集合住宅には接続できません。
●子器は、WQD品番の子器をお使いください。ほかの子器との組み合わせでは使用できません。（裏面の「接続機器と接続可能台数」参照）

●この商品は屋内専用です。屋外には設置しないでください。
●近くに高出力の無線局などがあると映像や音声が乱れる場合がありますが、故障ではありません。
●機器の近くで携帯電話やPHS電話を使用しないでください。近くで使用すると、映像や音声が乱れる場合があります。
●近くに強い磁気を発生するものがあると映像や音声が乱れる場合がありますので、注意してください。
●親機と子器間、および親機と副親機（または通話副親機）間の配線を他の接続機器や電灯線、電話回線などと平行配線する場合は、50cm以上離してください。音声に雑音が入ったり、映像が乱れる場合があります。
●配線ケーブルはAE線などの平行ポリエチレン絶縁ビニール被ふくケーブルを必ず使用してください。
●親機と発信器・送信器、住宅用火災警報器（ワイヤレス連動親器）、警報ランプ付ブザー受信器との電波到達距離は、障害物のない場所での水平見通し距離で約80mです。（親機と発信器・送信器、および親機と警報ランプ付ブザー受信器間で電波が届きにくい場合は、ワイヤレス中継器が使用できます。）
●当社の小電力型ワイヤレス商品は、親機から2m以上離してください。離さないと電波ノイズを受けたり電波の到達距離が短くなります。
●下記のような使用環境では、電波（ノイズ）を受けたり電波の到達距離が短くなります。このような場合は、動作しないことがありますので注意してください。
- 機器間に金属や鉄筋コンクリートなどの電波を通しにくい障壁がある。
- 機器間にある壁面内の断熱材にアルミ箔を貼り付けたグラスウールを使用している。
- 機器の周辺が金属物で囲まれている。（スチールキャビネットの間、カラオケボックスなど）
- 金属物の壁面に機器を取り付けている。
- 操作する人の体の向きで電波を遮っている。
- 電子レンジやパソコンなどの家庭用電気製品やOA機器が機器の2m以内にある。
- 機器の近くで、直流電圧で駆動するベルやモーターなどの機器が動作している。
- 機器の近くで、携帯電話やPHS電話を使用している。
- 機器の近く（10m以内）で、マイクロ波治療器を使用している。
- 近くに、テレビ、ラジオの送信所近辺の強電界地域または各種無線局がある。

●到達範囲内でも電波の特性により電波が弱くなる場所がありますので注意してください。
●接続機器については、その商品に付属の説明書をよくお読みください。

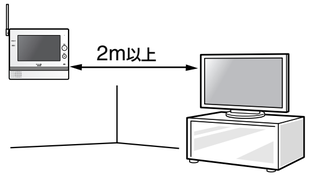
次のような場所には設置しないでください。 誤動作や故障の原因となります。

室内機間で音が回り込む位置
●ハウリング（ピー音がして通話ができなくなる）の原因となります。

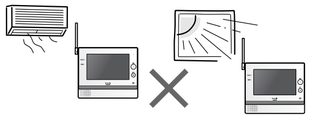


●同一室内での設置
●ドア開放時に室内機同士が見通せる位置の設置
●室内機を背中合わせに設置

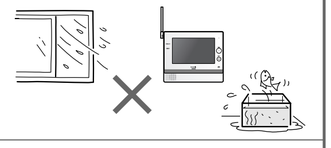
テレビ、ラジオ、ステレオなどの近く（2m以上離してください。）
●映像や音声が乱れる場合があります。



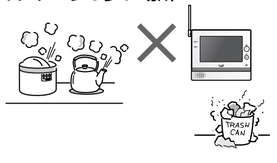
極端に寒い場所・暑い場所
（冷・暖房の近くや、直射日光の当たる場所）



水や雨のかかる場所（屋外など）
●感電の原因となります。



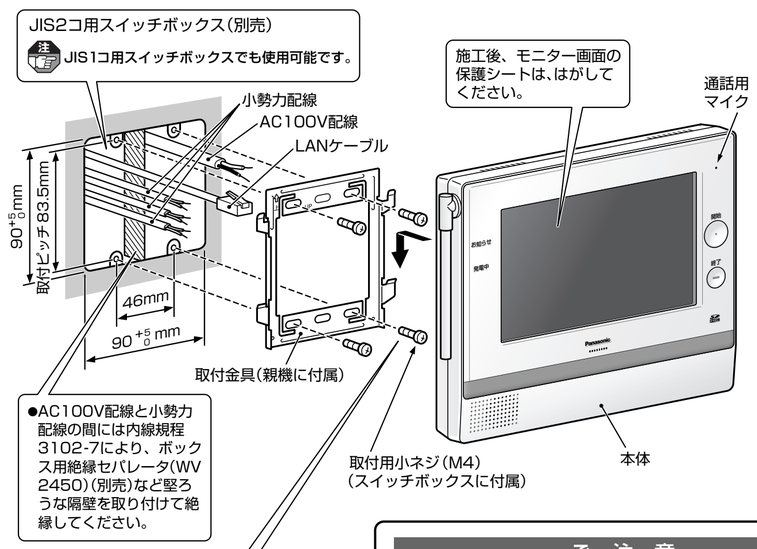
直接湯気のかかる場所
湿気の多い場所（浴室など）
ゴミやホコリの多い場所



硫化水素の発生する場所（温泉地など）
●寿命が短くなることがあります。

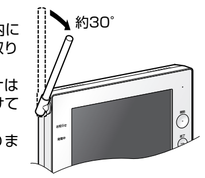
取　付　方　法

ボックス取付の場合

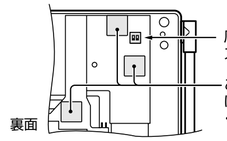


ネジを強く締め付け過ぎないようにしてください。
締め付け過ぎると、取付金具が変形して正しく取り付けできないことがあります。締め付けトルクは0.4N・m（4.1kgf・cm）以下で締め付けてください。

●アンテナを伸ばすため、親機上部から12cm以内には障害物がない位置に取り付けてください。
●施工後は親機のアンテナは壁面から約30°かたむけて使用してください。電波を受信しやすくなります。



●本体裏面の周波数設定スイッチが「CH1」になっていることを確認してください。

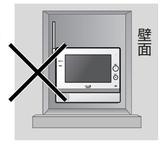


注 **●変更する場合は、親機と発信器・送信器、および警報ランプ付ブザー受信器などは必ず同じ周波数チャンネルに設定してください。**
●住宅用火災警報器（ワイヤレス連動型）は、「CH1（固定）」です。

ご　注　意

●取付高さは床面より本体の中心まで145cmをおすすめします。
●本体の中心は取付穴の中心より約3cm上にあがります。
●本体のまわり上下左右50cm以内には障害物がない位置に取り付けてください。
（壁面・はりなどがあるとハウリングの原因となったり、スイッチ操作やSDメモリーカードを出し入れする際に使用しにくくなります。）

●ハウリングの原因となりますので、壁面に囲まれるような場所への取り付けはしないでください。

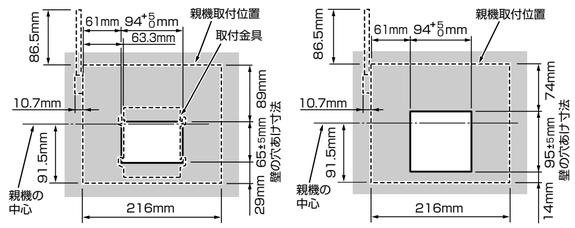


ボックスなし取付の場合

●AC100V配線と小勢力配線が接触しないように施工してください。
●ほかの取付方法はボックス取付と同じです。
●木壁取付の場合、取付金具は付属の取付用なべタッピンネジ2本で取り付けてください。
注 **石膏ボードへの取り付けは脱落を防止するため、必ずはさみ金具（別売）を使用してください。**

■壁の穴あけ寸法

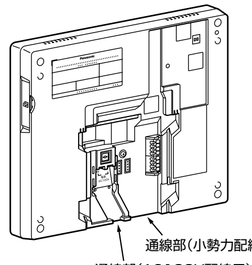
●取付用なべタッピンネジを使用する場合　●はさみ金具取付の場合



●はさみ金具は別売です。
●右記以外のはさみ金具は使用できません。

対象壁	はさみ金具品番
12mm厚以下の石膏ボード	WN3992K020（20コ入）
9～30mm厚の石膏ボード	WN3997（20コ入）

■露出配線する場合



●取付金具は取付用なべタッピンネジ（付属）で取り付けてください。

AC100V配線：
左下側の通線部から下方向に配線する。

小勢力配線・LANケーブル：
右下側の通線部から下方向に配線する。

はさみ金具を使用した場合の取付金具の取付方法

（はさみ金具に石膏ボード用取付押え金具（2連用）（9～30mm壁用）（WN3997）（別売）をご使用の場合は下記の手順に従って施工してください。）

①裏側に入れる
●はさみ金具を壁面の裏側に入れる。

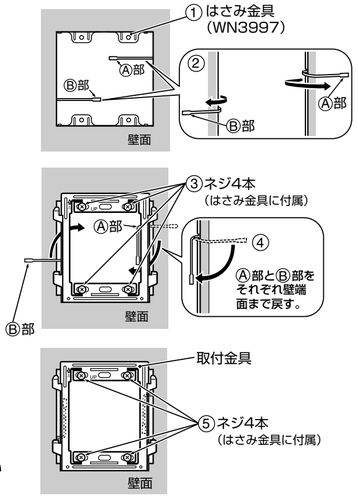
②仮固定する
●Ⓐ部とⒷ部を手で折り曲げ、壁面に仮固定する。

③仮止めする
●取付金具とはさみ金具をネジ（はさみ金具に付属）で仮止めする。

④戻す
●取付金具を左右に寄せⒶ部とⒷ部を壁端面まで戻す。

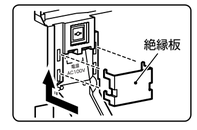
⑤ネジで固定する
●取付金具とはさみ金具をネジ（はさみ金具に付属）で固定する。

注 **Ⓐ部とⒷ部を取付金具と壁面にはさみ込まないようにしてください。**

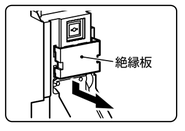


絶縁板について（露出配線の場合のみ）

取り付け方
●結線後、ツメをミゾ（4ヵ所）に差し込み上へあげる。



取りはずし方
●絶縁板を下にさげてはずす。



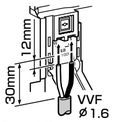
●露出配線の場合のみ、内線規程により、絶縁板を取り付けてください。
●下記の場合、絶縁板は不要です。ただし、壁面内に充填するグラスウールなどが接触しないように注意してください。
- ボックス取付の場合
- 壁面に通線穴を開けて本体を取り付ける場合

配　線　方　法

●接続する商品は別途お買い求めください。また、その商品に付属の説明書をよくお読みください。
●○端子は速結端子、⊗端子はネジ端子を示します。

AC100V配線

❶電線の被ふくを 12mm むく。
❷1本ずつ奥までしっかり差し込む。



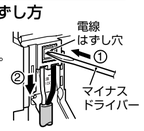
注「W」表示のある端子穴に 白色線(接地側) を差し込んでください。

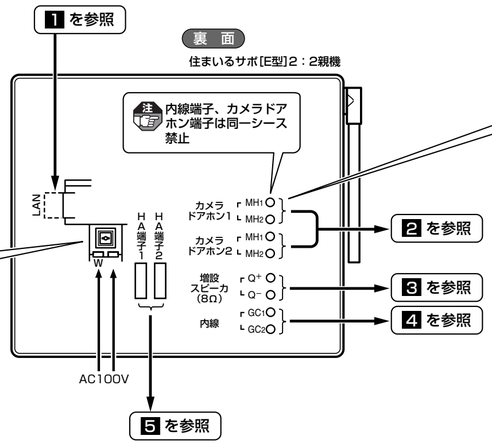
⚠警告

必ず守る **AC100V用電源線は確実に差し込む。**
差し込みが不十分な場合、発熱するおそれがあり、火災や焼損の原因となります。

■電線のはずし方

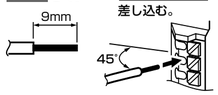
電線をはずし穴を押しながら、電線を引き抜く。





小勢力配線（速結端子）

❶電線の被ふくを 9mm むく。
❷1本ずつ奥までしっかり差し込む。

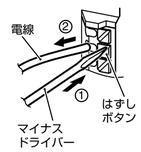


⚠警告

禁止 **小勢力端子にAC100V用電源線を接続しない。**
発火・発煙の原因となります。

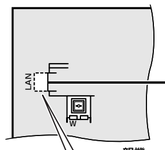
■電線のはずし方

はずしボタンを押しながら、電線を引き抜く。



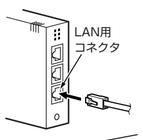
注 **結線終了後、断線や接続不十分な部分がないか必ず確認してください。特に配線の途中で電線接続する場合は、ハンダ付処理か圧着スリーブ処理を行い、その後テーピングで絶縁してください。また、配線はできるだけ接続個所を少なくしてください。**
（電線をよじっただけでは、接触不足や、長期間使用中に電線表面が酸化し接触不良をおこし、誤動作や動作しないなどの原因となります。）

1 LAN用コネクタの接続

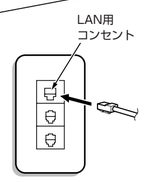


宅内LANに接続する場合

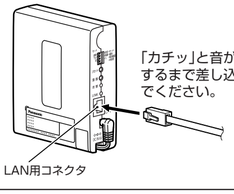
ルーターのLAN用コネクタに差し込む



LAN用コンセントに差し込む



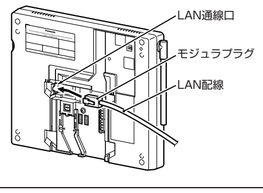
AiSEGに直接接続する場合



LAN配線

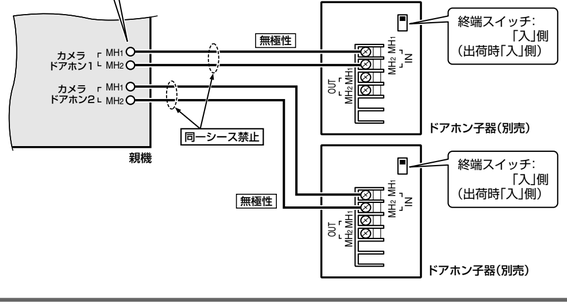
注 ●有線LANケーブルで接続してください。（無線LANでのインターネット接続はできません。）
●ラッチカバーなしのLANケーブルをご使用ください。（ラッチカバー付を使用し挿入しにくい場合には、ラッチカバーをはずしてご使用ください。）

❶ケーブルにモジュラプラグを圧着する。
❷「カチッ」と音がするまで差し込む。



2 カメラドアホン端子の接続

注 ●カメラドアホン1端子には、WQD500Aは接続できません。
●子器側で警報表示を行う場合は、必ずカメラドアホン1端子に接続してください。

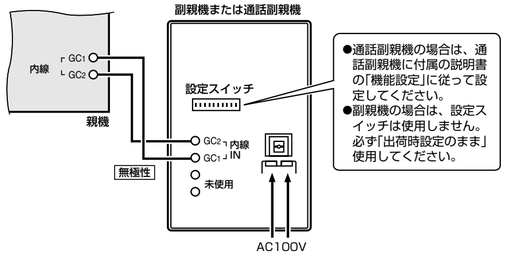


3 増設スピーカ端子の接続

適合増設スピーカー（別売）
●増設スピーカー(EC95352)
●光る増設スピーカー（WQN970W）
注 光る増設スピーカーは3台まで接続可能です。ただし、別途AC100V電源が必要です。

4 内線端子の接続

注 副親機または通話副親機のどちらか1台のみ接続できます。（下図は通話副親機の場合）

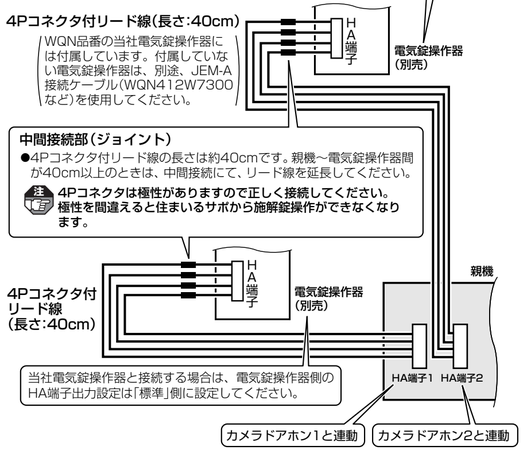


●通話副親機の場合は、通話副親機に付属の説明書の「機能設定」に従って設定してください。
●副親機の場合は、設定スイッチは使用しません。必ず「出荷時設定のまま」使用してください。

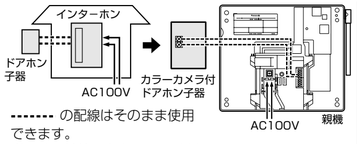
5 HA端子の接続

当社電気錠操作器と接続する場合は、電気錠操作器側のHA端子出力設定は「標準」側に設定してください。

4Pコネクタ付リード線（長さ:40cm）
（WQN品番の当社電気錠操作器には付属しています。付属していない電気錠操作器は、別途、JEM-A接続ケーブル(WQN412W7300など)を使用してください。）

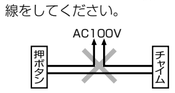


既設のインターホンやチャイムと取り替える場合



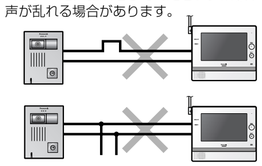
------ の配線はそのまま使用できます。
詳しくは結線図を参照してください。

●既設のチャイムの配線が下図のような場合、AC100Vがかかり、商品が故障します。この配線は使用できませんので、新たに配線をしてください。

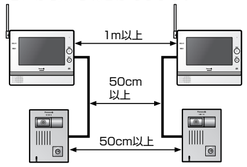


配線上のご注意

●配線をばらしたり、分岐配線はしないでください。また、不要な配線がある場合は取り除くか、新たに配線をしてください。映像や音声が乱れる場合があります。



●住まいるサポを2組以上使用する場合は下図のように設置してください。映像や音声が乱れる場合があります。



●配線の送り戻しなどで4心ケーブルは使用できません。（同一シース禁止）
映像や音声が乱れる場合があります。

■接続機器と接続可能台数

親　機	WQH700W	1台
副親機	WQH750W	親機1台につき1台のみ接続可能
通話副親機	WQH770W・WQH771W	
カラーカメラ付ドアホン子器（露出薄型）または（露出型）	WQD852B・WQD852S WQD852Y・WQD862B WQD862Y・WQD872B WQD872S・WQD872Y	親機1台につきカメラ付ドアホン子器・ドアホン子器は最大2台（各系統1台まで）
カラーカメラ付ドアホン子器（FFシリーズ）	WQD827B・WQD828B	
ドアホン子器（露出型）	WQD500A	

■配線可能距離

配線区間 ＼ 使用電線	ø0.65mm	ø0.9mm	LANケーブル（CAT5E）
親機～AiSEG、ルーターまたはLAN用コンセント	——	——	100m
親機～子器	50m	100m	——
親機～副親機または通話副親機	100m		——
親機～増設スピーカー	50m	100m	——
親機～当社電気錠操作器　※1	50m		——

※1：他社製のJEM-A規格準拠の電気錠操作器を接続する場合の配線長は 1.9m になります。（モニタ信号はスタティック信号のみに対応しています。）

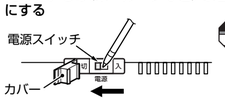
施工後の動作確認方法

施工店様へのお願い（必ず操作してください。）

1）すべての接続機器の電源を入れてから、親機の電源スイッチを「入」側にしてください。
2）設定マニュアルに従って、各設定を行ってください。
3）設定後、取扱説明書に従って動作の確認を行ってください。
異常がある場合には、下記に従って処置してください。

親機・副親機が異常な状態の一時処置

●先の細いもの（ボールペンなど）で電源スイッチを「切」側にする



注 通話副親機には電源スイッチはありません。

状　態	点　検	処　置
●全く動作しない ●時々動作しない	AC100V用電源線は正しく接続されていますか？ ●AC100Vが給電されていない場合があります。 ●速結端子に確実に接続されていない場合があります。	➡電源線を確実に接続してください。
	電源スイッチは「入」側になっていますか？	➡「入」側にしてください。
	副親機または通話副親機の機能設定は正しく設定されていますか？	➡副親機は出荷時設定のまま使用してください。通話副親機は付属の施工説明書に従って適切に設定してください。
●映らない　●勝手に鳴動する ●画面が一瞬明るくなるが、すぐ消える　●通話に雑音が入る ●接続した機器が使えない	配線は正しく接続されていますか？ ●屋内配線と屋外配線との接続部（ジョイント部）が、接続不十分の場合があります。	➡ネジ端子は増し締めを、接続部はハンダ付処理か圧着スリーブ処理を確実に行ってください。
●映りが良くない	子器の終端スイッチは「入」側に設定されていますか？	➡「入」側にしてください。
	子器のカメラ部、および親機・副親機のモニター画面の保護シートは、はがしてありますか？	➡施工後、親機、副親機、子器の保護シートは、はがしてください。
	設置場所は適切ですか？	➡映りは、子器の設置場所の条件によって変化しますので、子器に付属の説明書に従って適切な場所に設置してください。
	明るさの設定は適切ですか？	➡取扱説明書「操作編」の「子器映像の明るさを調整したいとき」に従って、調整してください。
●呼出音量が小さい（または大きい）	呼出音量の設定は適切ですか？	➡親機・副親機は取扱説明書「詳細設定編」の「呼出音量」設定、通話副親機は呼出音量切替ボタンを押して、調整してください。
●通話がとぎれる　●自分の声が相手に伝わらない ●相手の声が聞こえない　●通話に雑音が入る	工事中の騒音などで、音声がとぎれていませんか？	➡まわりの音が大きく騒がしいとき、音声がとぎれることがあります。
	配線の接続は、適切ですか？	➡「配線上のご注意」に従って、配線を見直してください。（特に既設配線を使用された場合は、必ず確認してください。）
●子器からの呼出中に、子器から再度、呼出ができない　●帰宅通知ができない ●子器の警報表示灯が点滅しない	子器設定は正しく設定されていますか？	➡接続する子器に合わせて、正しく設定してください。（付属の「設定マニュアル」参照）
●住まいるサポから施解錠できない	電気錠の設定は正しく設定されていますか？ ●接続設定の電気錠設定：親機 ●電気錠操作設定：親機・副親機 ●HA端子（電気錠）操作設定スイッチ：通話副親機	➡施解錠する場合は「あり」に設定してください。（付属の「設定マニュアル」、「取扱説明書」、または通話副親機の「施工説明書」参照）
	4Pコネクタ付リード線は接続されていますか？	➡「配線方法」に従って配線を見直してください。
	電気錠操作器の電源灯は緑色点灯していますか？	➡電気錠操作器の電源を入れてください。（電気錠操作器の電源が「切」になったり、断線した場合は、解錠ランプが赤色点灯し、操作できなくなります。）
●お知らせランプが点滅していて、開始ボタンを押すと、画面に「設定エラー」が表示される	電気錠操作器のHA端子出力設定は正しく設定されていますか？	➡「標準」側に設定してください。（電気錠操作器の「施工説明書」参照）
●画面に「ネットワークに接続できません。」が表示される	LANケーブルが正しく接続されていますか？	➡LANケーブルを確実に接続してください。
	接続機器の電源が入っていますか？	➡AiSEGあるいはルーターの電源を確認してください。
	設定直後やネットワークの通信が遅くなっていませんか？	➡しばらくたってから再度、操作してください。

パナソニック株式会社　システム機器ビジネスユニット
〒514-8555 三重県津市藤方1668番地 電話 0120-283338 FAX 0120-551626

© Panasonic Corporation 2012

8A3 F97 00001 M0812-0A